

| 団体名 | | 社会福祉法人 武蔵野市民社会福祉協議会 | | | | | | |
|-------|---|---|-----------|-----------|-----|------------------------------|------|------------------------------|
| 事業部 | ① 指標名 | 地域社協の育成に関する研修回数 | | | 目標値 | 市民社協職員 8回 地域社協 運営委員 4回 | 実績値 | 市民社協職員 9回 地域社協 運営委員 4回 |
| | 過去の実績 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 達成率 | 108.3% | 達成状況 | 未実施・未達成・達成 |
| | (単位: 回) | 職員 5・地域 4 | 職員 6・地域 4 | 職員 8・地域 4 | | | | |
| | 取組内容 | ※H30年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 1. 職員 (1) 東京都社会福祉協議会主催 ①「区市町村社会福祉協議会新任職員研修」(3名)、②区市町村協「地域福祉コーディネーター養成研修」<実践編>(1名)、③中堅職員重点テーマ強化研修(1名)、④「地域公益活動推進のための地域ネットワーク化に関する区市町村協情報交換会」(1名)、⑤「地域づくりを進めるコーディネーター連絡会」(1名)、⑥労働基準法等に関する基礎研修会(1名)、(2) 東京ボランティア・市民活動センター主催 ①中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾(1名)、(3) 東京都社会福祉士会主催 ①社会福祉士実習指導者講習会(1名)、(4) 北多摩北部ブロック社協共催 ①「ファンドレイジング」を知ろう!(2名)への参加 2. 地域社協運営委員 (1) 地域社協説明会(2回開催)、(2) 講演会「武蔵野市が被災した! 私の力で命が守れるの?」、(3) 情報交換会「ずっと知りたかった...聞こう聞こうと思っていた...あの地域のコト!!」、(4) 地域福祉ファシリテーター養成講座※(2)・(3)は地域社協による実行委員会を組織。 | | | | | | |
| | 一次評価 | ※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・新規採用職員に対し、小地域福祉活動の重要性を認識してもらうために、新任研修へ参加させた。また、現任の地域担当職員を地域福祉コーディネーター養成研修に参加させることで地域担当職員のスキルアップを図ることができた。 ・上記記載内容のほか、職員の知識及び技術の向上が地域活動の向上にもつながるため、市民社協職員の内部研修として、これまで職員が受講した外部研修の中で必要性が高いと感じたものの中から、①広報研修、②地域専任担当向け研修(記録の取り方、集計方法、地域担当配置等の課題改善)の実施ができた。 | | | | | | |
| 二次評価 | 法人の運営にあたって、専門的知識だけでなく、広報戦略の知識も非常に重要であり、新たに研修として実施したことは評価できる。今後も、法人全体で、必要な人材を育成できるよう研修項目の精査を行っていただきたい。 | | | | | | | |
| 財務部 | ② 指標名 | 会費収入 | | | 目標値 | 4,650,000円 | 実績値 | 3,357,392円 |
| | 過去の実績 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 達成率 | 72.2% | 達成状況 | 未実施・未達成・達成 |
| | (単位: 千円) | 3,760 | 3,551 | 3,423 | | | | |
| | 取組内容 | ※H30年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 1. 会員増加に向け次の取組みを行った。①七夕のつどい ②地域社協のサロンや運営委員会、手話講習会等の各種事業・VCMが行う講座などで入会呼びかけ ③「市民社協だより」やホームページへの会員募集記事の掲載 2. むさしのFMにおける時報CM放送(午後1時)によるPR 3. 平成28年度にまとめた「会員制度改革 職員による検討報告書」に基づくLINEスタンプ販売の実施 4. Facebookによる社協事業等の発信(記事投稿142件:平成30年度)など、若年層などSNS利用者へのPR展開 | | | | | | |
| | 一次評価 | ※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・地域社協のサロン活動において、当該事業に市民社協会費を充当している旨を説明する機会をいただき、社協や財源の説明を行い、数名の新規入会者を得ることができた。 ・幅広い世代に対し、市民社協の認知度を上げるためFacebookへの投稿数を増やすことに意識して取り組んだ。 ・財源確保は、どの自治体の社協でも共通の課題であるため、北多摩北部ブロックの6社協共催でファンドレイジング研修を実施した。 | | | | | | |
| 二次評価 | 法人活動への理解を促し、新規入会者を獲得することができたことは評価できる。会費収入が年々減少していることを踏まえ、より積極的に会員数の拡大及び財源の確保に努めていただきたい。 | | | | | | | |
| 内部管理部 | ③ 指標名 | 職員勤務評定制度 | | | 目標値 | 制度の充実 | 実績値 | 面接シートの活用による 目的意識の向上 |
| | 過去の実績 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 達成率 | 100.0% | 達成状況 | 未実施・未達成・達成 |
| | (単位:) | 制度の充実 | 制度の充実 | 面接シートの導入 | | | | |
| | 取組内容 | ※H30年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・嘱託職員、主事、主任、係長に区分された人事評価シートにより、各区分ごとに求められる能力評価を5段階で評価した。 ・年度の期首には、職員各自に「年度内の目標」を記載する「面接シート」を作成・提出をさせた。その内容を基に職員との業務への取り組み方等に関する意見交換、指導等を実施し、目標達成に向け1年間取り組むよう促した。期末にはその目標の達成度などの振り返りを実施した。 | | | | | | |
| | 一次評価 | ※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・職員各自の「職員の業務量及び業務に関する意見・希望調査書」に基づき正規・嘱託の全職員に対し、面接を実施した。面接にあたっては、健康状態の把握と事業見直し、翌年度の業務分担等に反映できるよう課題や改善点、業務負担等を確認した。 ・「面接シート」における1年間の業務目標3つに対して、その達成度等について期末面接での振り返りにて、職員各自が自己評価をすることで、業務に対する目的意識の向上につながった。 | | | | | | |
| 二次評価 | 面接にあたっては、正規・嘱託問わず、業務における負担や、健康状態の把握を丁寧に行い、休職や離職のないよう引き続き努めていただきたい。また、面接シートを導入したことの効果を確認し、改善すべき項目の見直しや、手法の再検討により、より効果的な勤務評定制度を構築するよう努めること。 | | | | | | | |